

地域と病院をむすぶネットワーク情報誌

みやのわ

87

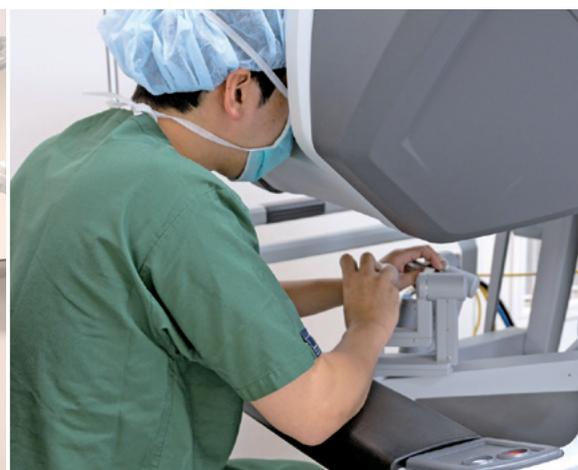
2025.7
SUMMER

特集

① 外科で診るおなかの症状

② 外科におけるロボット支援下手術

外科 主任診療科長(兼)消化器病センター長 / 吉川 貴久



ロボット支援下手術の様子

- リレーエッセイ 内科系診療部長 仲地 一郎
- みやのわ情報局 看護宿舎建設に着工しました！
- information 一般外来診療のご案内

外科で診るおなかの症状

はじめに

当院の外科は70床の外科病床を有し、年間約1,400件の手術を行っています。胃や大腸、肝臓・胆のう・膵臓に加え乳腺まで幅広い疾患に対応するだけでなく、急な腹痛など腹部救急疾患にも24時間体制で対応しています。

近年は、体への負担が少ない腹腔鏡・胸腔鏡による低侵襲手術を積極的に導入しており、その割合は年々高まっています。小さな傷で済むため痛みや出血が少なく、回復が早く早期退院につながるのが大きな特長です。

消化器内視鏡検査は年間約1万件施行し、治療を目的とした早期の食道・胃・大腸がんに対する内視鏡治療(粘膜下層切開剥離法(ESD))、胆管結石に対する内視鏡治療(内視鏡を用いた総胆管結石採石術(EST/EPBD)や胆道下しナイジー術)、膵臓/胆道疾患に対する内視鏡検査(超音波内視鏡検査(EUS))および超音波内視鏡下組織生検検査

(EUS-FNA)や内視鏡治療(内視鏡的胆道ステント留置術、内視鏡的嚢胞ドレナージ術)など、幅広く対応しています。これらの検査・治療は消化器内科と協働して行っています。

さらに、当科は「日本肝胆膵外科学会高度技能研修施設」に認定されており、高難度の肝胆膵手術も多数行っています。また、「日本腹部救急医学会認定施設」として虫垂炎や腸閉塞など急性腹症を迅速に対応しています。他にも、「日本大腸肛門病学会関連施設」「胃癌学会認定施設B」などの様々な認定を受けており、幅広い消化器疾患に対応できる体制を整えています。

地域の皆さまの安心に貢献できるよう、専門医による手術前から退院後まで切れ目のないサポート体制で、安全かつ質の高い医療を提供してまいります。

外科
主任診療科長
(兼)消化器病センター長

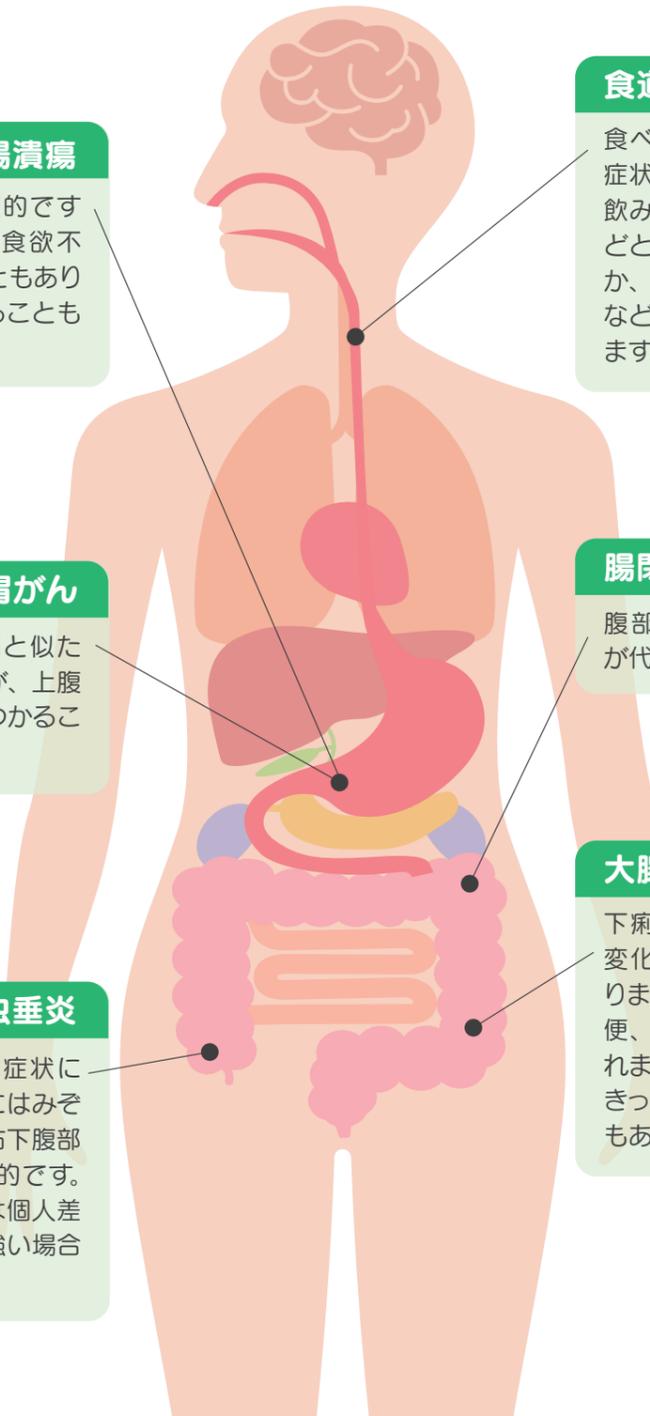
吉川 貴久 医師

よしかわ・たかひさ

今年度4月より外科主任診療科長(兼)消化器病センター長を拝命しました吉川貴久と申します。これまで医師になってから20年以上消化器外科を専門として勤務してきました。微力ながら地域の患者さんや医療機関の皆さまに貢献できますよう精一杯努めてまいります。何かと至らぬ点もあるかと思いますが、皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



気になるおなかの症状



胃潰瘍・十二指腸潰瘍

みぞおちの痛みが典型的ですが、吐き気や背部痛、食欲不振などの症状が出ることもあります。黒色便が見られることもあります。

食道がん

食べ物のつかえ感が典型的な症状です。教科書的には「熱い飲み物がしみる感じ」がするほか、背部痛、胸痛、体重減少、などの症状も比較的良好みられます。

胃がん

胃潰瘍や十二指腸潰瘍と似たような症状が現れますが、上腹部腫瘍をきっかけに見つかることもあります。

腸閉塞

腹部膨満感、腹痛、嘔吐などが代表的な症状になります。

虫垂炎

右下腹部痛が代表的な症状になりますが、教科書的にはみぞおちの痛みで始まり、右下腹部に移動する痛みが典型的です。しかし、虫垂の場所には個人差があり、痛みが左側に強い場合などもあります。

大腸がん

下痢や便秘などの排便習慣の変化全般が典型的な症状になります。ほかに便柱狭小化や血便、腹痛などの症状もよく見られます。健診での便潜血検査をきっかけに病気が見つかることもあります。

外科が担当する臓器は頸部の食道から肛門までの消化器や鼠経ヘルニアなど多彩な臓器になり、それぞれの疾患の症状も様々なものになります。

消化器疾患の検査にはさまざまなものがありますが、最初に行う検査としては内視鏡検査(胃カメラ、大腸カメラ)とCT検査が重要な検査になります。そのほか、必要に応じて超音波、MRI、PETやその他特殊な検査も検討することになります。

外科におけるロボット支援下手術

ロボット支援下手術

古くから腹部の外科手術では、大きくおなかを切開する開腹手術が行われてきました。が、1980年代ごろから、小さい傷でカメラや手術の道具を挿入して行う内視鏡手術が普及してきて、手術の方法が大きく変わってきました。ロボット支援下手術はロボットの技術を使って、この内視鏡手術をさらに進歩させたものと言えます。ロボット支援下手術のメリットとしては、高精度の3Dモニターや手振れ補正、多関節機能による自由度の高い動きによる精密な手術が行えることなどが挙げられます。

対象疾患

当科では2022年から直腸がんに対してロボット支援下手術を開始し、現在80例以上の手術を行っています。

直腸がんの手術は、狭い骨盤内に存在し、周囲には膀胱や精巣、前立腺といった排尿や

性機能に与える臓器、神経が隣接しているため、慎重な操作が求められます。腹視鏡手術の場合、直線的な鉗子を用いて手術を行うため、操作中の可動域制限があり、手術手技の難易度が高く、習熟と工夫を要します。多関節機能を持つロボットの鉗子は、人の手のような自在な動きを可能とし、手振れをしないため、狭い骨盤内の深部でも繊細な操作が可能となりました。また、3Dフルハイビジョン画像の高画質カメラを用いて手術を行うことで、手術部位の細かい解剖や血管、神経の認識も可能となりました。

また、2024年からは結腸がんおよび胃がんにもロボット支援下手術を開始しました。胃がん手術では、脾臓周囲のリンパ節を取り除く際に脾臓が圧迫され、脾臓で分泌される脾液が体内に漏れ出す「脾液瘻」が起る可能性があります。ロボット支援下手術では、自由度の高い多関節機能を持つ鉗子により、脾臓を強く押さえつけずに精緻な操作が可能です。国内外の研究で脾液瘻の発生率が従来の腹腔

鏡手術より低いことが報告されており、合併症リスクの低減、早期の回復が期待できます。今後も当科では積極的にロボット支援下手術に取り組んでいきたいと考えています。

全ての患者さんの手術にロボット支援下手術が適している訳ではなく、がんの大きさや進行度など、患者さんの病状に応じて、従来の開腹手術や腹腔鏡手術が適応となる場合があります。外来でお気軽にご相談ください。

治療体制、取り組み

現在、当科では食道外科専門医1名、肝臓脾高度技能医2名、内視鏡外科技術認定医2名、大腸肛門病専門医1名を含む14名の常勤医が勤務しています。

がんに対する専門的な治療から、虫垂炎や鼠経ヘルニアなど日常的な疾患に対する治療にも力を入れて取り組んでいます。当院では県の救命救急センターを受託運営しており、常時2名以上のオンコール体制で救急疾患の治療にも対応しています。

手術支援ロボット ダヴィンチ (イントゥイティブサージカル社)

ダヴィンチを構成する3つの機器

- 

1 サージョンコンソール (操縦席)
操縦席に座り、3D(三次元)画像を見ながら手元のコントローラーを操作します。
- 

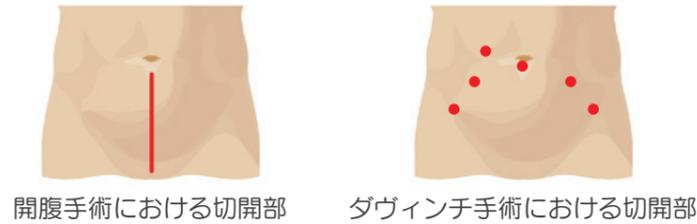
2 ペイシェントカート
4本のロボットアームにコントローラーの動きが伝わります。
- 

3 ビジョンカート
モニターに手術中の画像が映し出され、手術スタッフも同じ画像が共有されます。

ロボット手術の特徴

1. 体への負担が少ない

数力所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく、出血も抑えられ、手術後の回復が早く、患者さんの負担が軽減されます。



2. 鮮明な3D画像

コンソールモニターには高画質な3D画像が映し出されます。術者はモニターで奥行きのある体内画像を見ることができます。



3. 精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダヴィンチの鉗子は、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えています。



外科スタッフ



臨床検査技術科

株式会社テクノメディカ
採血業務支援システム一式

- 自動採血・採尿受付機「AI-500」
- 自動採血管準備装置「BC・ROBO-8001RFID」
- 患者呼出・患者照合装置「採血情報端末」

はじめに

当院では、1日に500名から650名程度の外来患者さんが採血に来られます。採血は、病気の診断・病状の把握・治療効果の判定のために、必要不可欠な医療行為です。

2025年1月、当院では採血業務支援システムを更新し、より安心・安全な採血環境を整備しました。今回は、患者さんにとって最も身近な医療機器である「採血業務支援システム」についてご紹介します。

採血環境の整備

システム導入以前は、採血受付を受付スタッフがすべて手作業で行っており、混雑時には受付に長い時間がかかっていました。また、採血時の呼出しも名前で行っていたため、言い間違いや聞き間違い、同姓同名による患者さんの取り違えが発生するリスクがありました。

システム導入後は、受付から採血管準備、患者照合までをすべて自動化し、安全性と効率性が大きく向上しました。患者さんにとっても、よりスムーズで安心な採血が可能になっています。



採血ブース

臨床検査技術科
外来検査課

秋山 晋

あきやま しん

臨床検査技術科は、臨床検査室の品質と能力に関する国際規格「ISO15189」を取得しており、国際的に認められた基準に基づいて検査を行っています。この認定を通じて、検査の正確性と信頼性を高め、常に高品質で安心・安全な検査の提供に努めています。



更新した機器について

■ 採血・採尿受付機
“AI-500”

採血・採尿のオーダー情報に応じて、採血整理券や尿検査カップを自動発行する装置です。磁気カードリーダー（診察券の挿入）やICカードリーダー（診察券のバーコード）による受付に対応しています。当院では3台設置しています。



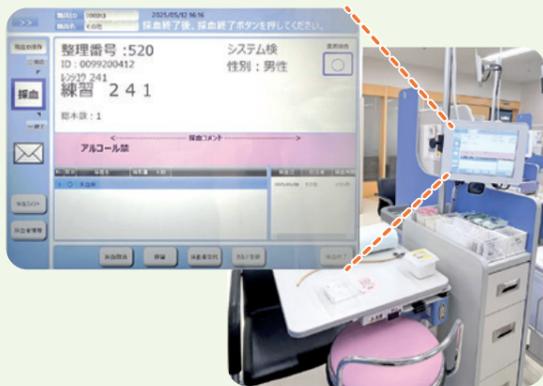
■ 自動採血管準備装置
“BC・ROBO-8001RFID”

正確かつ迅速に採血管を準備する装置です。採血管に検査ラベルを自動で貼付することで、患者さんや検査時の取り違えを防止します。



■ 患者呼出・患者照合装置
採血情報端末

採血指示書、採血管、採血整理券を用いて患者照合を行う装置です。アレルギー情報や医師からの検査コメントなども表示されるため、重要事項の確認漏れを防止します。採血ブースごとに1台設置しています。



採血室からのお知らせ

採血室では、正確で迅速な採血の実施に努め、患者さんの待ち時間短縮を目指していますが、曜日や時間帯によっては長くお待たせする場合があります、ご迷惑をおかけしております。

患者さんの待ち時間をさらに短縮するため、2026年4月（来年度）より「予約採血システム」による運用を開始予定です。

● 診察・予約検査時間の90分前（一部時間帯を除く）から採血を実施します。

※ 予約検査は時間指定のある検査が対象となります。

※ 採血・採尿の受付は7時45分以降いつでもできます。

※ 「複数の診療科の受診」や「予約検査と診察予約がある」場合には、一番早い時間に合わせた採血開始時間で採血いたします。

● 土曜日（第2土曜日は除く）は、採血開始時間に関係なく採血いたします。

運用が変更となりご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



楽しく脳トレ! ゲームで認知症予防

近年さまざまなゲームが認知機能により効果を示すことが報告されています。特別養護老人ホームに入居している軽度～中等度の認知症の高齢者に、リハビリテーション用に開発されたコンピュータースポーツゲームを週1回程度実施した研究では、空間認知力や記憶力、社交性の向上を認めました。特に脳と身体を同時に使うゲームが有効と考えられています。皆さんも楽しみながら、脳トレーニングを行えるゲームを活用してみたいかがでしょうか。



身体を動かしながら行う
テレビゲーム



囲碁や将棋などの
テーブルゲーム



グランドゴルフなどの
スポーツゲーム



曲に合わせて指定の
動作を行うリズムゲーム
(ダンスなど)

POINT

- 難しすぎるゲームよりも、ちょうど良い～少し難しいの難易度で行いましょう!
- 一人で行うよりもグループで行うとより効果があります!
- みんなが楽しめるゲームを選択しましょう!
- 続けることが大切です!

作業療法課

薬

やく くすり に立つ! のコラム

File.43

エヌエスティ

NST 専門療法士の役割

つい最近まで放映されていたNHKの朝の連続ドラマ「おむすび」は管理栄養士さんが主役でしたが、その中でNSTというチームが登場したことを覚えていますか?

NSTは、患者さんの栄養状態を改善し、病気の回復や合併症の予防を目的とした医療チームで、当院にも存在しています。医師、管理栄養士、薬剤師、看護師など、多職種が協力して、患者さんの栄養状態を評価し、適切な栄養管理を行います。栄養というと管理栄養士を思い浮かべますが、食事からの栄養摂取が不十分で消化管を使用できない患者さんには点滴での栄養補給が必要となります。点滴といえば薬なので、薬剤師が活躍するわけです。

NST専門療法士という資格は、栄養療法についてのスペシャリストです。看護師・管理栄養士・薬剤師以外にも多職種が取得できる資格です。

今回は、NST専門療法薬剤師の役割を紹介します。

1 栄養療法における処方支援

- 栄養剤(医薬品)の選択
- 点滴の内容の提案
- 病気に応じた栄養剤の選択

2 栄養療法における適正使用

- 栄養療法に用いる機材の適正使用
- 栄養剤・健康食品と薬との相互作用(飲み合わせ)の確認
- 副作用の防止と対策

3 お薬の説明と在宅への連携

- 薬や点滴・栄養剤(医薬品)の患者さんやご家族への説明
- 退院時および在宅での栄養管理法の患者さんやご家族への支援

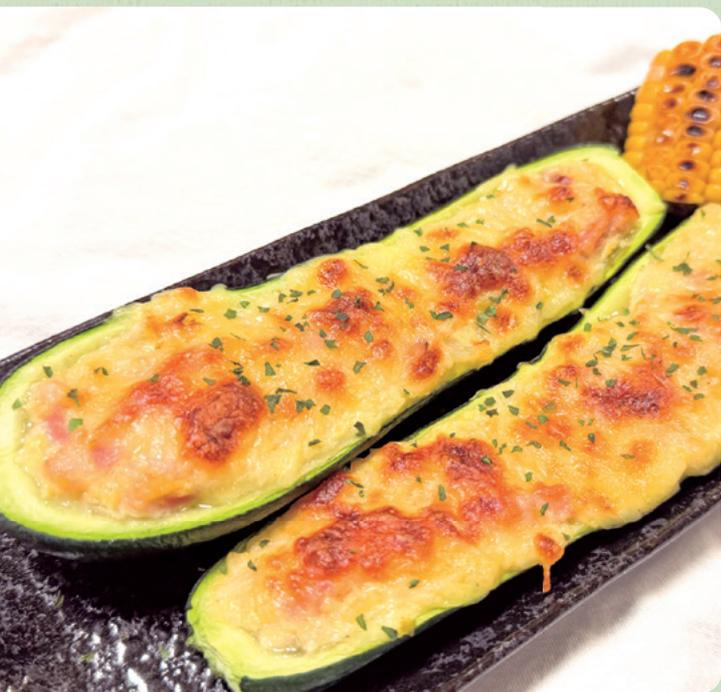


薬剤部
渡部 義和

季節の素材で

医食同源

れしぴ



ズッキーニの丸ごとグラタン



6～8月にかけて旬を迎えるズッキーニ。今回は、ズッキーニを丸ごと使用したヘルシーなグラタンをご紹介します。

材料 【4人分】

ズッキーニ	2本
たまねぎ	1/4個
ベーコン	60g
バター	10g
小麦粉	5g
牛乳	60ml
コンソメ	小さじ 1/2
チーズ	20g
パセリ	少々

【1人分の栄養価】

[エネルギー] 117kcal

[塩分] 0.8g

作り方

- ズッキーニを縦半分に切る。中のわたをくり抜き、粗みじんにする。たまねぎを粗みじん、ベーコンは3cm程度の長さに切る。
- フライパンにバターをひき、①を炒める。
- 水分が飛んできたら、小麦粉をふり入れてから混ぜる。さらに牛乳、コンソメを加えて混ぜ再度水分を飛ばす。
- 中身をくり抜いたズッキーニに③の具を入れ、チーズをかける。
- 200℃のオーブントースターで10分焼く。
- お皿に盛り付け、パセリを振りかける。



ズッキーニってどんな野菜？

きゅうりのような見た目をしたズッキーニですが、かぼちゃの一種でナスのような食感の野菜です。カリウムが豊富で同じ種族のかぼちゃに比べ低カロリーなのが特徴です。淡色野菜の中ではカロテンという免疫機能を高める栄養を多く含みます。元々ヨーロッパで栽培されていましたが1980年代に輸入されてから現在では夏を代表する野菜として広まりました。

医療栄養科 管理栄養士

やまかわ さゆり
山川 小百合



古口さんの
ある日のスケジュール



- 8:30 入院患者さんの薬剤の確認・服薬指導
- 10:30 新規入院患者さんの持参薬確認・初回面談
- 12:30 休憩
- 13:30 翌日手術予定の患者さんに使用される
薬剤の確認・服薬指導
- 15:30 入院患者さんの薬剤の確認・服薬指導
- 17:30 退勤

薬剤師の仕事とは
 薬剤師は病院、調剤薬局、ドラッグストアなど様々な場所で活躍しています。その中でも病院薬剤師は、患者さんに安心して薬物治療を受けていただけるよう様々な面からサポートを行っています。当院では主に外来・入院処方箋の調剤、院内製材品の調剤、医薬品の品質や在庫の管理、医薬品情報の収集・管理などの業務があります。これらに加え、病棟における薬剤管理指導、手術室における医薬品管理、入院サポート

目標・意気込み
 多くの経験を積み、幅広い知識を身に付け、患者さんや他の職種の方に信頼される薬剤師になれるよう精進します。

病棟薬剤師の役割とは
 当院では、ICU/CCU、NICU/GCUおよび緩和ケア病棟を含む全ての病棟に薬剤師が常駐しています。入院時には持参薬・サプリメントの服用状況、アレルギー・副作用歴の確認を行っています。入院中は、新しく使用する薬剤の説明、患者さん個々の全身状態を考慮した処方の確認、薬物療法における有効性・安全性の評価、医師・看護師等への情報提供などを行います。退院時には、薬剤の服用方法や飲み合わせの注意点などの説明を行い、退院後も安全かつ効果的に薬を使用していただけるよう努めています。

センターにおける入院前の患者さんの持参薬確認、化学療法センターにおける抗がん剤調製と薬剤管理指導、各種チーム医療への参画などに携わっています。

今号のマイスターは...



薬剤部 病棟薬剤課 古口 ともみ 智業

マイスターに Q&A

- Q. この職業を目指したきっかけはなんですか？**
A. もともと理系科目が好きで薬学部へ進学したことがきっかけです。他職種と連携してチーム医療に関わりたいと考え病院薬剤師を目指しました。
- Q. 仕事をするうえで心がけていることはなんですか？**
A. 安心安全な薬物治療を提供できるよう自己研鑽に努めることです。
- Q. 当院を選んだ理由はなんですか？**
A. 地元で地域医療に貢献したいと思ったからです。また、専門資格を持っている薬剤師の先輩方が多く在籍しており、多くのことを学べ、成長できると感じたからです。
- Q. 趣味または特技は何ですか？**
A. 趣味はスポーツ観戦で野球やバスケの試合をよく観に行っています。特技は空手で社会人になってからなかなかできていないので、再開したいと思っています。
- Q. 尊敬する人は誰ですか？**
A. 薬剤師の先輩方です！



笑顔のマイスター

第45回

いつも元気に笑顔で働くヒミツを教えてください。笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです！
 ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

Group photo



薬剤課の皆さんと
(下段中央が古口さん)



2025年1月5日～ 電子カルテシステム 各部門システムを更新しました!

当院は、患者さんの診療情報をデジタル形式で記録・管理する電子カルテシステムをはじめとする院内の各システムの更新をいたしました。“円滑な運用”と“医療の安全と質の向上”を実現する体制を整えるべく、約1年半にわたり各部門・職種が検討を重ねてまいりました。電子カルテシステムの更新により起動速度と操作の応答性が改善され、院内での情報共有・連携がより円滑に行えるようになりました。業務の効率化によって得られた時間を、患者さんに向き合う時間へと還元し、より安全で質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。

円滑な更新・運用のための取り組み

システム更新プロジェクト会議



多職種が定期的に意見交換

更新リハーサル



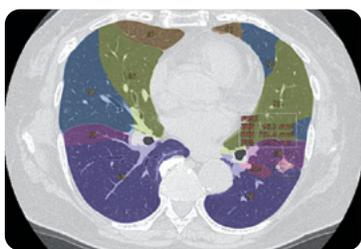
本番と同じ環境で手順を検証

情報セキュリティトラブル対応訓練



トラブル発生時の手順を確認

他にもたくさん! 院内で活躍する部門システムのご紹介!



1 AI 技術を活用! 読影・画像診断サポート

in 放射線科

CT・MRI画像から臓器部分を自動で抽出し、病変と疑われる箇所を提示します。見落とし防止と診断時間の短縮に繋げ、医師の読影・画像診断をサポートします。



2 空いている検査へ自動的に誘導! 検査誘導システム

in 健診センター

各検査ブースの混雑状況や受診者ごとの待ち時間を考慮し、効率よく次の検査を受けられるよう受診者を誘導します。待ち時間を短縮し、受診のストレス軽減に繋がります。



3 音声で記録! 看護記録支援システム

in 看護部

音声を認識すると、AIが内容を解析し自動的に文字起こしをします。患者さんの治療経過を記録する看護記録の作業時間が短縮し、患者さんのケアの時間を増やせます。

みやのわ 情報局

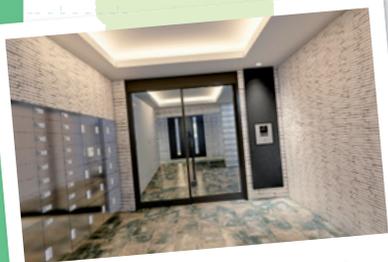
3月

看護宿舎建設に着工しました！

2026年4月オープンに向けて、当院で働く看護師のための看護宿舎建築が進んでいます。この建物は既存の宿舎に代わるもので、“安心して暮らせる、働きやすい環境”を目指しています。近年のライフスタイルに合わせた居住空間はもちろん、セキュリティーや利便性にも配慮しています。工事中は近隣の皆さまにご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



イメージパース 外観



イメージパース エントランス



3月12日 起工式（地鎮祭）



6月2日 現在の様子

4月

市民公開講座「しあわせに生きるためのヒント」を開催しました！



講演会の様子

4月12日、みやのわホールにて市民公開講座「しあわせに生きるためのヒント」を開催し、276名もの方にご来場いただきました。講師には、外科医で2013年にはイグノーベル医学賞を受賞された新見正則氏をお迎えしました。この講演会は、新見氏と当院の篠崎浩治院長が、若き日の臨床現場で共に研鑽を積んだご縁から実現しました。心と体の健康が“しあわせ”の基盤であることを、医学的視点とユーモアを交えながら分かりやすくお話いただきました。講演後には来場者との活発な質疑応答も行われ、大盛況で幕を閉じました。ご来場いただき誠にありがとうございました。

当誌「みやのわ」へのご意見・ご感想をお聞かせください

済生会宇都宮病院 広報課
〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1
✉ miyanowa@saimiya.com

▶ 当院ホームページでバックナンバーをご覧くださいませ。



トップページ > 病院について > 広報

当院の直近3カ月の診療実績

	令和7年3月	令和7年4月	令和7年5月
延外来患者数	31,040人	30,637人	29,942人
実入院患者数	1,440人	1,374人	1,293人
平均在院日数	11.9日	11.9日	11.7日
救命救急センター患者数	1,323人	1,208人	1,297人
救急車台数	798台	756台	753台
手術件数	592件	590件	597件

コロナ後とはいえども



リレーエッセイ

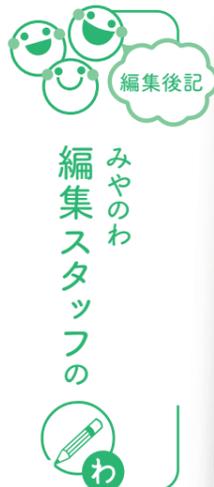
内科系診療部長
仲地 一郎

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行され、令和7年5月で丸2年が経ちました。これにより行政関与ではなく自主的な取り組みに委ねる体制に変まりました。発生初期に比べると確かに重症度は低下し、強力な隔離措置や自宅待機を必要とするほど生命や健康に大きな影響を及ぼす病気ではなくなりました。うに感じられます。ただ、大流行には至らずとも高い伝染性は変わらず維持されており、肺炎を合併し酸素を



必要として入院される患者さんはあとを絶ちません。最前線で関わる医療従事者としては、未だに警報レベルの感染症のひとつとして診療にあたるべきと感じています。また、コロナに限らず昨今のインフルエンザウイルスやマイコプラズマ感染症の大流行など、呼吸器関連の感染症は季節、場所を選ばずいつでも我々の健康を脅かす存在になります。コロナ後≠コロナ撲滅と考えると、マスク着用や手洗い、うがいの徹底、ワクチン接種にはどうぞ自主的に取り組むよう心がけてください。

梅雨が明け、夏の日差しが眩しい季節となりました。これから本格的に暑い日が続いてきますので、くれぐれも熱中症にはお気を付けていただき、楽しい夏をお過ごしください。さて、最近は大阪・関西万博の話題を目にする機会が増えてまいりました。未来の医療や健康をテーマにした展示も多いと聞き、筆者も今年の夏には実際に足を運んでみたいなあと思っております。最先端の医療技術に触れることで、日々の業務に新たな視点や革新的なアイデアを得られたらなと思っています。



みやのわ 編集スタッフのわ

ちょこっとメモ 8月4日

朝活の日

朝時間を大切にすることを広めるために、朝の挨拶「おは(8)よ(4)う」の発想から制定されました。朝活とは、単に早起きすることではなく、朝の時間を使って趣味に没頭したり、運動をしたりするなど、自分自身のための時間を有意義に使うことを指します。朝を意識することで、一日のスタートを活力に満ちたものに変えることができます。また、無理なく朝活を取り入れることで、心と体の健康を促進し、一日を充実させることができます。日々の生活に彩りを加える手段として、朝活で自分自身と向き合う時間を作ってみるのはいかがでしょうか。

一般外来診療のご案内

受付時間 8:30 ~ 11:00
(一部、受付時間が異なる診療科がございます)

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。初診時に紹介状がない場合には、**選定療養費7,700円(税込)**をお支払いいただくこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

オンライン資格確認に関するお知らせ

マイナンバーカードでの資格確認に対応しています。

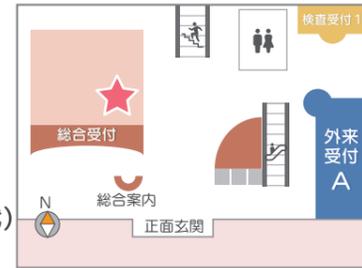
当院ではシステム更新に伴い、オンライン資格確認の端末を増設しました。各外来受付などに設置してありますので、ご利用の際は受付スタッフにお声がけください。



がん相談支援センター 医療相談・看護相談室のご案内

がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えたい…」「誰かに聞いてもらいたい…」こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▶ 当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。電話と面談による相談をお受けしております。
☎ 028-626-5500(代) 【内線】 3245



無料低額診療のご案内

当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。



治療費の支払いにお困りの方は、本館1階「がん相談支援センター/医療相談・看護相談室」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

栃木県からのお知らせ 救急電話相談のご案内

子どもの救急電話相談(概ね15歳未満の方)

☎ 028-623-3531 局番なしの #8000

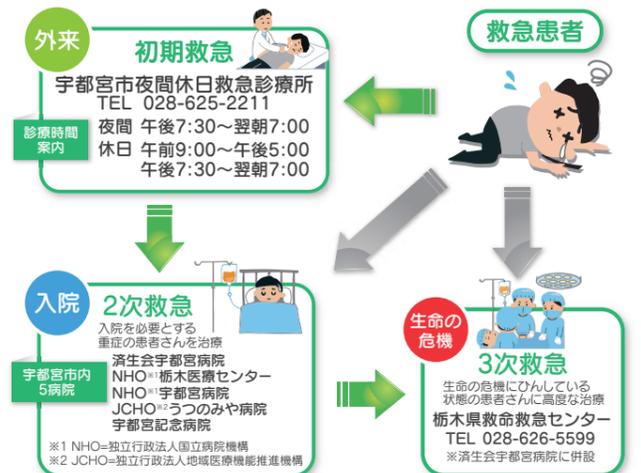
大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)

☎ 028-623-3344 局番なしの #7119

開設時間 月～金 午後4時～翌朝10時
土日祝 24時間

急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

栃木県からのお知らせ 救急医療体制のお知らせ





健診センターからお知らせ

Pick up!! >> 年に1度は人間ドックを受けましょう!

日帰りドック

忙しい方に、精密かつ迅速な検査!

充実したオプション検査 昼食付

男性 46,200 円 (税込)

女性 49,500 円 (税込)

1泊ドック

ゆっくり検査を受けたい方に!

提携宿泊施設：ホテル東日本宇都宮
夕食(和・洋・中から選択)と2日目の昼食付

男女共通 68,200 円 (税込)

専門ドック

気になる病気について
詳しく検査を受けたい方に!

・PET/CTドック 111,650円(税込)

・がんドック 57,200円(税込)

・脳ドック 55,000円(税込)

・レディースドック 20,900円(税込)

お問い合わせ・ご予約

🕒 月～金
13:00～17:00

☎ 028-643-4441

📄 検査項目、オプション
検査など詳しくは
ホームページを
ご覧ください。



理念

思いやりのある 安全で質の高い医療を提供し 地域社会に貢献します

基本方針

1. 患者中心の医療

患者さんの権利を尊重し、満足度の高い医療を提供します。

2. 医療の質・安全

安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。

3. 地域貢献

地域医療福祉機関との連携、予防医学の推進により、地域社会へ貢献します。

4. 救急・急性期・高度医療

地域基幹病院として救急・急性期・高度医療を提供します。

5. 職場環境

働きがいを感じることができる職場環境をつくります。

6. チーム医療

職種間連携を強化し、チーム医療を推進します。

7. 人材育成

地域医療のリーダーシップを担う人材を育成します。

8. 健全経営

医療資源を最大に活用し、健全な病院経営に努めます。



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜財団 済生会宇都宮病院



www.saimiya.com/



SAISEIKAI_UTSUNOMIYA



日本医療機能評価機構

当院は日本医療機能
評価機構認定病院です